

# 全体の意見



## 国鉄新潟

NO. 735  
発行  
11・10月25日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
関川 和彦  
編集責任者  
教 宣 部



国労東日本本部定期大会の特集を記載します。3号にわたって特集を組みましたが、いかがだったでしょうか。少し長くなっただけかもしれませんが、よろしくお願ひします。次回は、地本定期大会の記事を記載します。地本教宣部

## 国労東日本本部 マラソン大会開く 11月26日(土) 皇居外周



親探への拡大、国労は会社へ申し入れを行った。現場で組合の説明会については、現場判断とした。会社の対応が変わった。大曲駅で取り組み、組合説明会が実施された。しかし配属前に東労組に加入していた。

安全・安定輸送、安全が守られているか。車両故障・ヒューマンエラーが発生している。技術教育について計画できる要員配置を要求していく。

設備メンテナンス技術継承についてパートナー会社の業務内容がJRの直轄になっている。技術継承について出向者が退職していくと業務

が回らなくなっていく。不安の声がある。常磐線は原発の放射能で不安な状況が続いている。

JR貨物会社は家族の安否確認よりも業務を優先させた。貨物線は被害甚大だ。

春闘の闘い、全組合員による行動を展開した。FAX行動・現場長交渉を実施した。貨物会社の期末手当の回答は低額回答だった。旅・貨一体となった取り組みを強化し、ストライキで闘おう。

原発問題、大きな問題だ。学習会を開催、線量計の測定を実施し



た。事実による調査から改善を求めていく。

JR不採用問題について終結した。国労としての総括をすること。雇用を守ることができなかった。なぜ0だったのか。これから、この闘いの御礼だけでなくJR包囲する闘い、雇用を守る闘いを進めていく。

さまざま多くの意見が出されました。各職場の闘いの報告から、いろいろな取り組みなど活かしていただきたいと思ひます。

地本教宣部

分會活動の強化、職場の実態、状況など、国労は共通した要求・不満・悩みなど要求改善していく取り組みを進める。この力を出して全国的に広めていく。国労の単一組織を生かしていく。

グリーンスタッフ・契約社員(3年)が来年3月で契約満了になる。職場では不満が言えない現状がある。雇止めを反対し雇用を守る闘いを進める。

JR不採用問題が終結、10月に函館闘争団と各労働組合へオルグを実施する。JR貨物における嘱託社員の出向先の労働条件改善について、職場の取り組みを中心に、地本・支部・分會・貨物協が一体となった取り組みから、要求を改善した。労基署を活用し前進した。

原発20キロ圏内の組合員は寮・住宅の生活が続いている。2年間は家賃は無料。2年間で帰れるか不安、不満だ。震災時の勤務扱い乗務員の実態について、ルールづくりが必要だ。原発については国の基準で判断すると言っている。問題点を集約し本社交渉の実施を要請。放射能の対策について説明を求めていく。



高嶺郡内風露



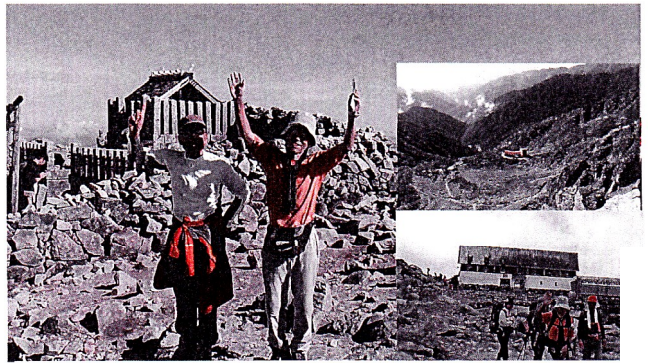
兔菊



買って5年もなるが初めて使ったとのこと。今回の縦走は、朝のうちは空木岳の稜線も見え隠れしていたが、だんだんと雲行きが怪しくなるし、名もないピーク越えもかなりキツイ。和ましてくれるのがお花です。中央アルプスは、およそ170種の植物が分布している。北アルプスや南アルプスに比べると少ないそうです。

### 花と静けさが残る山

中央アルプスの醍醐味。延々と続く縦走路小さく登り小さく下りながら、延々と続く縦走路です。 ※トラブルが発



木曾駒ヶ岳山頂 千畳敷カール

昨年の鹿島槍～五竜岳縦走～1年ぶりにみなさんに再開し、新顔は小川さんでした。ここで天気に恵まれたとは言えませんが、ひたすら名前のない険しい岩山ピークを、これでもか!これでもか!の連続でしたが無事に歩き帰宅でき、皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。小屋では

旨いつまみワインもご馳走になりました。

ださい。

あり5時30分に新宿着。西部線と家にとどりついたら20時です。では。

メール=樋口さんより

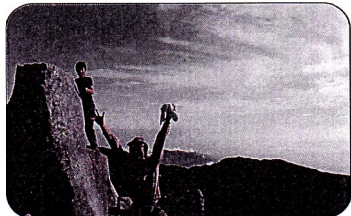
### びっく!味わう頂上往復

ケ岳ロープウェイの売店へ行ったが靴は売って無い。今晚の宿は、宝剣山荘へ向かうことに、また、雨がポツリポツリと降ってきて、中ほど来た所で雷がカールで鳴り響く、山道は混雑しているし、足早に山小屋に16時ごろ着きました。(靴=宝剣小屋で9,500円)

今日の乾杯は外で準備していたが、雨が降ったり止んだりの繰り返しなので、部屋でやる事にしました。私たち6人で独占できましたので余裕で過ごしました。

※7月7日(日) 天候=晴れ 朝食前に宝剣岳を登る。早朝から素晴らしい天気。南アルプスの山々もくっきり見えその向こうに富士山も顔を出している。山荘を出るとすぐ宝剣岳の登りになる。岩場で緊張感ある登り約20分ぐらいで山頂だ。山頂は狭いので2~3人がやっと来た(8月7日日曜日) 道を下り、日曜日でもあるので、宝剣山荘 6:30 結構混雑してきました。

- ↓ 20分
- 宝剣岳
- ↓ 20分
- 宝剣山荘 7:20
- ↓ 30分
- 駒ヶ岳山頂 (2956.3m)
- ↓ 30分
- 宝剣山荘 9:03
- ↓ 32分
- 千畳敷き 9:35



宝剣山頂

※今回3日目の計画では、木曾駒ヶ岳から西駒山荘・桂木場へ



ニホンサルのおやこ

下る予定にしていたのですが、靴のトラブルもあり駒ヶ岳ロープウェイで下山することに決めました。

7時30分頃になるとだいぶ山道が混雑してきました。木曾駒の帰りの巻道でニホンザルに10~20頭位の群れにあって

昨日稜線に歩行しているときハイマツに来るとフンと松ぼっくりの食い刺しが落ちているのが多々見かけました。納得、猿がこれを食べているのだと確信しました。最後に天候が良い事は心もウキウキ怪我もなく下山することが出来ました。樋口さんは駒ヶ根からバスで帰宅し、こぶしの湯で汗を流して帰宅しました。みなさんありがとうございました! 以上

このまま何日も山行を続けたかった。

メール=坂井さんより

お疲れ様

です。厳しい登山と変わり天気に戸惑いながら無事帰宅でき感謝しています。自分の不注意で、靴のソールが剥げ、皆さんにご迷惑かけお詫びいたします。山の雄大さに感動し、次の計画を楽しみにしています。

メール=長沢さんより

参加者=リーダー 坂井  
会計=長沢・記録=大湊  
その他小川・樋口・野村  
合計6名

教宣部

し 喫 秋 ま も ズ の キ た り 月 と 年 冬 秋 ま に の り 秋 ら こ た せ ス ニ の K  
 しょう し を す な ィ シ ノ ま に 3 も く か す な 季 紅 に 山 れ ま を ユ 会 N  
 う ま 満 ね り に コ し な ケ あ 今 ら り 節 葉 な も か し 載 1 の 山